

那須塩原市 議会だより

第63号

平成28年5月5日発行

栃木県那須塩原市
議会だより編集委員会



5回目の議場コンサート。優雅な音色が議場を包みました。(平成28年2月29日)

平成28年 第2回那須塩原市議会定例会 (2月26日～3月17日)

市長からは人事案件2件、平成27年度補正予算案件9件、平成28年度当初予算案件9件、条例の制定、全部改正及び一部改正案件13件、決算認定案件2件、報告案件3件、その他の案件9件の合計47件が提出されました。

議会からは、その他の案件3件が提出されました。

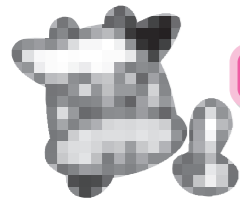
目次

- 議案の審議結果 ②
- 討論 ④ 請願・陳情審議結果 ⑤
- 予算審査の概要 ⑥
- 委員会の主な審査 ⑧
- 各議員の議案に対する賛否の状況 ⑩
- ここが聞きたい!
～会派代表質問&市政一般質問～ ⑪
- 市議会Report ⑱
- 市議会って?Q&A ⑲

議案の審議結果

(前のページからの続き)

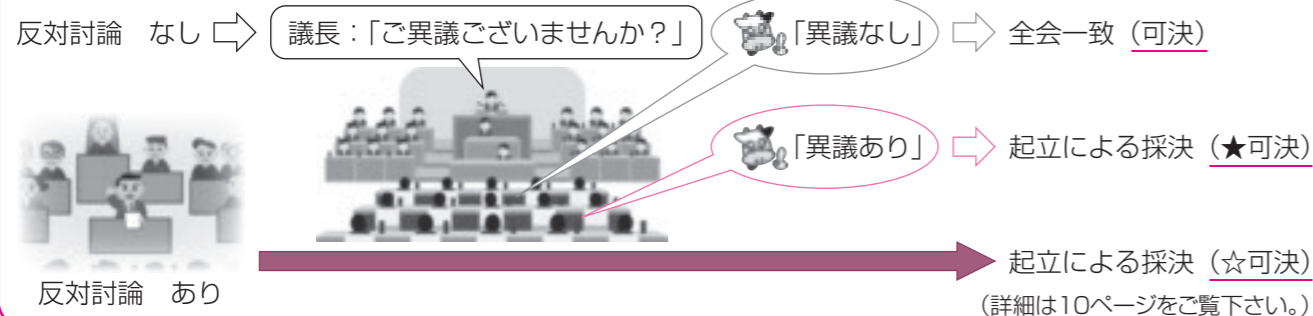
議案番号	件名	結果
議案第28号	那須塩原市手数料条例の一部改正について	可決
議案第29号	那須塩原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業等の利用者負担に関する条例の一部改正について	可決
議案第30号	那須塩原市介護保険条例の一部改正について	可決
議案第31号	那須塩原市営住宅条例の一部改正について	可決
議案第32号	公の施設の区域外設置に関する協議について	可決
議案第33号	黒磯那須共同火葬場組合との間の行政不服審査法第81条第1項の機関に係る事務の委託に関する協議について	可決
議案第34号	黒磯那須公設地方卸売市場事務組合との間の行政不服審査法第81条第1項の機関に係る事務の委託に関する協議について	可決
議案第35号	那須塩原市第2期最終処分場基本構想について	可決
議案第36号	那須塩原市保育園整備計画（後期計画）の改訂について	可決
議案第37号	那須塩原市発達支援システムについて	可決
議案第38号	那須塩原市生活排水処理基本構想の改訂について	可決
議案第39号	市道路線の認定及び廃止について	可決
認定第1号	平成27年度大田原地区広域消防組合一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第2号	平成27年度黒磯那須消防組合一般会計歳入歳出決算認定について	認定
発議第1号	決算審査特別委員会の設置及び議案の付託について	可決
議案第40号	平成27年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）	可決
議案第41号	訴えの提起について	可決
発議第2号	議員の派遣について	可決
発議第3号	議員の派遣について	可決



解説

結果の欄の☆印、★印は全会一致による結果ではなく、起立採決にて行われたもの

「可決」と「☆可決」と「★可決」の違いについて



本会議において審議された議案の結果（報告案件は除く）は次のとおりです。
【会期：2月26日～3月17日】

議案番号	件名	結果
同意第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について（北村和子氏）	同意
同意第2号	那須塩原市教育委員会委員の任命について（田村伸之氏）	同意
議案第2号	平成27年度那須塩原市一般会計補正予算（第6号）	☆可決
議案第3号	平成27年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第4号	平成27年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第5号	平成27年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決
議案第6号	平成27年度那須塩原市下水道事業特別会計補正予算（第4号）	可決
議案第7号	平成27年度那須塩原市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第8号	平成27年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第4号）	可決
議案第9号	平成27年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第3号）	可決
議案第10号	平成28年度那須塩原市一般会計予算	☆可決
議案第11号	平成28年度那須塩原市国民健康保険特別会計予算	☆可決
議案第12号	平成28年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計予算	★可決
議案第13号	平成28年度那須塩原市介護保険特別会計予算	可決
議案第14号	平成28年度那須塩原市下水道事業特別会計予算	可決
議案第15号	平成28年度那須塩原市農業集落排水事業特別会計予算	可決
議案第16号	平成28年度那須塩原市温泉事業特別会計予算	可決
議案第17号	平成28年度那須塩原市墓地事業特別会計予算	可決
議案第18号	平成28年度那須塩原市水道事業会計予算	可決
議案第19号	那須塩原市空き家等対策の推進に関する条例の制定について	可決
議案第20号	那須塩原市空き家対策審議会条例の制定について	可決
議案第21号	那須塩原市消費生活センター条例の全部改正について	可決
議案第22号	那須塩原市交通指導員設置条例の一部改正について	可決
議案第23号	那須塩原市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について	可決
議案第24号	那須塩原市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例等の一部改正について	可決
議案第25号	那須塩原市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	☆可決
議案第26号	那須塩原市職員の給与に関する条例等の一部改正について	☆可決
議案第27号	那須塩原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決

(次のページへ続く)

請願・陳情審議結果

3月定例会で審議された陳情の結果は次のとおりです。請願はありませんでした。

区分	受理年月日	件名	提出者住所・氏名	結果
陳情	H27.8.24 (第11号)	ミニポートピア(場外舟券売り場)建設 反対の陳情書	那須塩原市上赤田321番地 上赤田子供を守る会 代表 八木澤 元雄	不採択

今回の陳情については、審査対象とすべきミニポートピアの建設計画書が、未だ事業者から市に対して提出されていない状況であり、審議ができないということで不採択となりました。

請願・陳情の提出のしかた

市民の皆さんの意見・要望等について、市議会へ請願及び陳情を提出する制度があります。当市議会では、定例会を年4回(3・6・9・12月)開催しています。それぞれの定例会開会の10日前までに提出されたものが、その定例会で審議されます。

【請願・陳情は、次の要領で提出してください。】

- ◎あて先(那須塩原市議会議長あて)、提出年月日、及び趣旨・理由等を簡潔に書いてください。
 - ◎住所・氏名をはっきり書いて、必ず押印してください。
 - ◎請願を提出する場合は、様式に従って紹介議員(那須塩原市議会議員)の記名押印が必要になります。
 - ◎請願者・陳情者が多数のときは、代表者を決めてください。
- ※受理されたものは、関係する委員会で審査しますので、複数の項目にわたる場合は、別々の請願・陳情として提出していただくことがあります。
- ※必要により図面(その他資料)を添付してください。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。
(☎0287-62-7181)

請願(陳情)内容
(趣旨、理由を書いてください。)

平成 年 月 日

那須塩原市議会議長あて
○○に関する請願(陳情)
紹介議員 印
(陳情の場合、紹介議員は必要ありません。)

請願(陳情)者
住所
氏名 印 他 名



討論のしくみ

- 討論の時間：1議題につき1人10分以内
- 人数：1議題につき、賛成、反対各5人まで
- 順番：議長が、最初に反対者を発言させ、次に賛成者と反対者をなるべく交互に指名して発言させる
- 通告：あらかじめ討論通告書により議長に通告する(即決議案を除く)

討論

討論とは採決前に議題となっている案件に対して「賛成」か「反対」かの意見を表明し、意見の異なる相手を自分の意見に同調させ、賛同者を得ようと努めることです。

■議案第10号 平成28年度那須塩原市一般会計予算

反対

ふじむらゆみこ 議員
藤村由美子

第一に、市民目線では到底納得できない改定された議員報酬が含まれている。第二に、長期的な事業計画や財源などの検証が十分なされないまま、市長の公約事業について予算審査を求められたことは納得できない。

反対

たかく こういち 議員
高久 好一

マイナンバー制度は、行政目的以外に民間への利用拡大が予定され、危険は一層増大し、市民の大切な個人情報を守るため中止・廃止しかない。市の保育士の63%が臨時であり、賃金を引き上げ、資格があり再任用を繰り返す職員は正規の職員として採用すべき。

■議案第11号 平成28年度那須塩原市国民健康保険特別会計予算

反対

たかく こういち 議員
高久 好一

国保の県単位化を前に、財政調整基金9億円を療養給付費に繰り入れ、市民の財産をなくす目的のような予算案は認められない。収納率の改善が進むなか、全国の3分の1以上の市や町が取りやめた過酷な保険証取り上げを県内2位で続けるのはもうやめるべき。

賛成

わかまつ はるまさ 議員
若松 東征

国民皆保険を支えるこの制度を安定的に継続して運営することが被保険者の健康を守る基本となる。平成28年度予算は、平成26年度決算および平成27年度の医療給付状況等を分析し計上された予算であると判断し、今後も適切な運営をお願いし、賛成する。

■議案第25号 那須塩原市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

反対

やまもと はるひ 議員
山本はるひ

就任早々の市長が今、議員報酬引き上げをすることについて、理解ができない。報酬は市民の方々が納めた税金から支払われている。議員報酬改定より先にすべきことはなかったのか、市民のみなさんの声を聴いて慎重に議論した後、改定すべきと考える。

反対

たかく こういち 議員
高久 好一

議員報酬に関わる議案は、審議と合わせ市民の声を聞きながら、十分な時間をかけ、性急に行うべきではない。議員報酬を18.5%増の6万5千円引き上げ42万円とする条例の改正案は、厳しい経済情勢のなかで市民生活とかけ離れており、認められない。

■議案第26号 那須塩原市職員の給与に関する条例等の一部改正について

反対

ふじむらゆみこ 議員
藤村由美子

市内の民間給与との格差が0.36%もあるのかきちんと把握していないのに、市職員の給与水準を引き上げるのは市民に説明がつかない。不安定な身分である非常勤職員の報酬の見直しを伴わない職員給与の引き上げには納得できない。



予算審査の概要

予算常任委員会では、3月7日から16日までの間、市長から提出された平成28年度一般会計予算について、事業の内容や予算額の根拠などについて審査しました。

■平成28年度那須塩原市一般会計予算の概要

- 「市民優先」を基本的な方針として、市政の円滑な運営を確保することを第一に通年予算を編成。
 - 保健、医療、子育て、高齢者福祉などの社会保障関係経費については、年間所要見込み額を計上
 - 公共施設等の維持管理経費やバス運行補助を始め、市民生活に密着した経常的経費については、年間所要見込み額を計上
 - 国県補助を導入して行う道路整備事業や都市再生整備計画事業、子育て施設整備補助などの投資的経費については、各計画に基づき必要額を計上
 - 高齢者外出支援タクシー料金助成や子育て応援米をはじめとした公約事業や新規施策等の政策的経費については、喫緊の課題への対応に必要な額を計上
 - 調査・検討が必要な一部の公約事業は、準備が整い次第今後の補正予算において予算の追加を行う。
- 以上の考えにより、当初予算総額は472億6千万円。

主な質疑

【定住促進】◎定住促進事業の新幹線通勤定期券購入補助の算出根拠は

▲これまでの実績を勘案して、20人分ぐらいを見込んで計上した。

【福祉政策】◎避難行動要支援者台帳管理システムとは、災害時に高齢者や障害者といった避難弱者の方々の記録した台帳とその方たちの情報を落とした地図データを作成することだが、自治会の見守り事業に活用することは可能か。

▲このシステムは、災害時に地域や消防、自主防災組織等に情報提供し、いち早く避難できるように使用するもの。情報の提供にあたっては、承諾書を得ることが必要であるため、すべての方の情報提供を行うことができるかは不確定。

【高齢者外出支援タクシー券】◎高齢者外出支援タクシー利用券について、前回の実施の中で、不正事案等は把握しているか。

▲本人以外の方が使っているケースがあると聞いている。今回は携帯しやすい資格者証を作成したい。

◎ゆっくり精査した上でスタートしないのか。

▲9月スタートということで8月には交付する。

◎遠くの方に対応する手だては考えているか

▲月に4枚の支給で、1回に2枚まで使えるということは前回から制度化している。

【黒磯駅周辺整備】◎まちなか交流センターについて、駐車場はどれぐらいを考えているか。

▲30台程度を整備することが望ましいが、基本設計の中で最低でも15台程度は確保する。今後ワークショップ等で議論を重ね、交流センターの敷地の近くに確保できないか検討している。

◎駅前図書館について、3,200㎡の民有地を買う交渉をしているという事だが、詳しく知りたい。

▲ヨークベニマルとJRの間の細長い駐車場である。110台の駐車が可能。その他に、ヨークベニマルと50台程度共用することも検討中。図書館には30~40台程度を見込んでおり、トータルで200台程度は確保できると見込んでいる。

【公共交通】◎地域バス運行事業について、利用者が払っている金額と市が業者に払っている金額がアンバランスであるが、このような予算の立て方で良いのか。

▲公共交通として全くバスが走っていないところで、25年度から試行的な意味で予約ワゴンバスの運行を開始した。これからは那須地域定住自立圏の中で広域公共交通として展開していきたい。そのような中で少しずつ見直しをしていけたらと考えている。広域公共交通の企画提案を待つ間も、試行錯誤を繰り返し、検討していく。

■平成28年度国民健康保険特別会計予算について

【メタボ検診】◎特定保健指導対象者への体力測定委託料があるが、対象者は何人で何回の開催を予定しているのか。

▲平成26年度の対象者は1,225名であった。特定保健指導の指導会を年間70回開催し、そこに健康運動指導士を呼んで実施するもの。

■平成28年度那須塩原市介護保険特別会計予算について

【地域住民助け合い】◎地域住民助け合い事業の予算増加の理由は。

▲平成27年度では3公民館だったが、28年度は4公民館を対象としているため。

■平成28年度那須塩原市水道事業会計予算について

【上水道】◎有収水量の推移状況と、市の見解を伺う。

▲ほぼ横ばいに近く、増えてはいない。減少していく見込みであり、最大の課題である。

■平成28年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計予算について

【システム開発】◎社会保障・税番号制度のシステム開発の内容は。

▲マイナンバー制度に伴うシステム開発費である。

■平成28年度那須塩原市下水道特別会計予算について

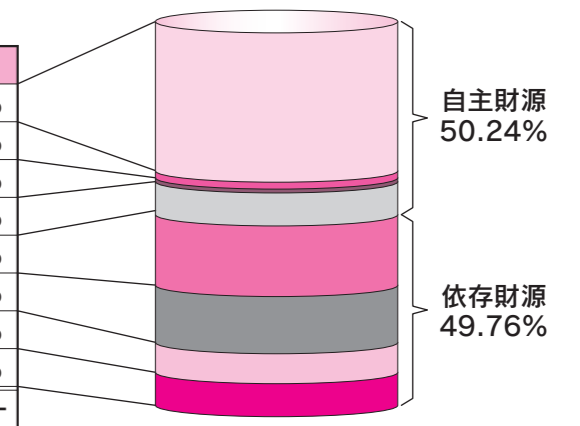
【下水道】◎下水道受益者負担金改定事業について、改定したものはいつからスタートするのか。

▲来年1年は検討時期として考えていきたい。

一般会計

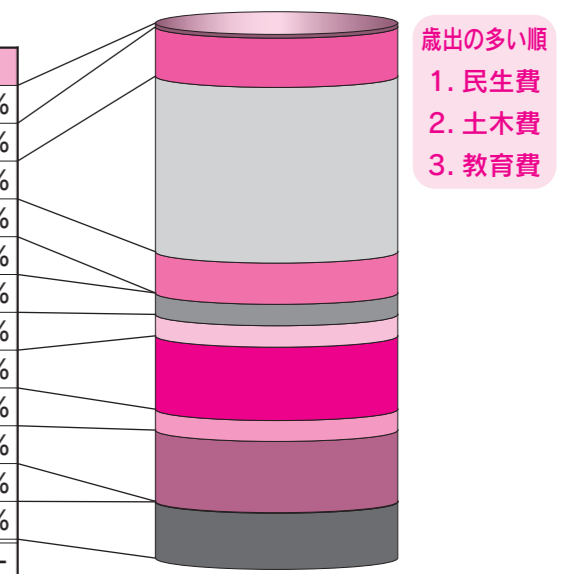
〈歳入〉

区分	予算額	構成比
市税	183億2,377万6,000円	38.8%
使用料・手数料	8億5,919万8,000円	1.8%
分担金および負担金	4億8,415万3,000円	1.0%
その他	40億7,418万1,000円	8.6%
交付金	86億7,900万0,000円	18.4%
国庫支出金	70億6,045万1,000円	14.9%
県支出金	37億 384万1,000円	7.8%
市債	40億7,540万0,000円	8.6%
合計	472億6,000万0,000円	-



〈歳出〉

区分	予算額	構成比
議会費	3億4,037万7,000円	0.7%
総務費	43億3,659万1,000円	9.2%
民生費	155億1,120万2,000円	32.8%
衛生費	36億4,786万5,000円	7.7%
労働費	1,808万1,000円	0.0%
農林水産業費	18億8,252万8,000円	4.0%
商工費	18億9,280万4,000円	4.0%
土木費	64億7,962万4,000円	13.7%
消防費	18億6,098万1,000円	3.9%
教育費	62億8,831万3,000円	13.3%
災害復旧費、諸支出金、予備費	5,000万6,000円	0.1%
公債費	49億5,162万8,000円	10.5%
合計	472億6,000万0,000円	-



※四捨五入の関係で、構成比の合計が100%にならない場合があります。

委員会の主な審査

総務企画常任委員会

■那須塩原市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について

《議案の概要》地方公務員法の一部改正により改正するもの。本市の人事行政の運営等の状況については、毎年9月20日号の『広報なすしおばら』で公表している。

質疑 追加する3項目の公表は、どのような形で公表するのか。

答弁 「職員の人事評価の状況」については、5段階評価の人数、「職員の休業に関する状況」については、休業している職員の人数、「職員の退職管理の状況」については、地方公務員法の改正により、退職から5年間は在職時に行っていた職務に対する働きかけが禁止になったことから、それらの件数があればその件数を公表する。

■那須塩原市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

《議案の概要》議員報酬は、合併後報酬額の改定が行われていない。その額も平成10年の旧黒磯市の金額を継承している。全国の類似団体と比較しても著しく低額である。昨年2月に市議会から検証依頼があり、特別職報酬等審議会へ諮問し、類似団体における報酬等の状況や最近の経済社会情勢などに関連する諸情勢について、検証を3回実施した。審議の結果、本案のとおり答申があり、本議会上に上程した。

金額については、議長月額51万円、副議長月額45万円、議員月額42万円に改める。

質疑 審議会の内容、審議の内容等はどのような意見があってこの金額に達したのか。

答弁 全国の85の類似団体の中からさらに那須塩原市と状況が似ている30の自治体に絞り、財政状況が健全であるということを確認した。金額については、人口が11万以上13万人未満、議員の定数が24人から30人の自治体9団体を絞り込み、それらの団体を参考にし、年額の報酬を比較して、最終的には那須塩原市の月額の出し方に置きかえて、それらの比較の中で金額を上げるべきという形になった。類似する9団体の平均額を参考にしたという経緯がある。

質疑 報酬審議会の中では、全会一致でのこの算出決定になったのか。

答弁 全員一致である。

■那須塩原市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

《議案の概要》

行政不服審査委員会	弁護士、大学教授及び准教授その他これらに準ずる者	日額	15,000円
	その他	日額	10,000円
スクールソーシャルワーカー		日額	15,000円
空き家対策審議会委員	弁護士、大学教授及び准教授	日額	15,000円
	その他	日額	7,400円

施行日 平成28年4月1日

質疑 行政不服審査委員会の委員のところに弁護士、大学教授及び准教授、その他これらに準ずる者ということが1つ入っている。空き家対策法は、その他これに準ずる者ということが入っていない理由は何か。

答弁 行政不服審査会は、この准教授等に準ずる者として、税理士や司法書士といった方にもお願いするような場合もあると考えられるので、この文言を加えたもの。

【委員会録】配信中!

各常任委員会の会議録を配信しています。付託議案に対する常任委員会内での審査内容をぜひご覧ください。

那須塩原市議会 会議録 と入力し **検索**



福祉教育常任委員会

■那須塩原市保育園整備計画(後期計画)の改訂について

《議案の概要》平成27年3月に子ども・子育て未来プランを策定した。この子育て未来プランと後期計画については非常に関連性が強く、整合性を図る必要がある。さらに、特に西那須野地区に入園待ちの児童が現在も多くいることから、保育園整備計画全体の見直しが必要となり、改訂を行うものである。

質疑 認可外保育施設の施設数は。

答弁 4月1日現在で、11の認可外の施設がある。

質疑 病院内の託児所が、病児保育を併設した認可事業へ移行する計画であるとのことだが、開園したときに病院に勤務する人の児童のほかに、一般の児童も入園できるのか伺う。

答弁 現在計画している施設は、病児保育併設の認定こども園を予定している。市が入園の判断を行うことになるため、基本的には一般の児童も預かる形になる。

■那須塩原市発達支援システムについて

《議案の概要》発達に支援が必要な子どもとその保護者に対して、発達の段階に応じ、早期から切れ目のない一貫した総合的な支援を計画的に推進するもの。

具体的には、保健、医療、福祉、教育、就労の支援の関係機関が相互に連携し、共通の視点に立って、生まれてから20歳までの期間、自立や社会参加が可能となるよう支援する。

質疑 個別支援計画は家族も手元におくことができるか伺う。

答弁 個別支援計画は保護者と相談しながら作成するものであり、ファイルとしてまとめたものを最終的に保護者に預けることとなる。

質疑 発達支援システムの中で、地域全体で、はぐくむことを目指しますとあるが、どういう理解を得て地域の協力を得る考えがあるのか伺う。

答弁 発達障害児を持つ保護者の意見として、問題行動が出た時に外からの視線がとてつらいと聞いている。地域に直接手伝っていただくのではなく、市民向けの講演会等を通じて、地域の理解を得られるよう調整するというような考えである。

建設経済常任委員会

■那須塩原市空き家等対策の推進に関する条例の制定について

《議案の概要》市が行う空き家対策について必要な事項を定めるもので、生活環境の保全及び安全に安心して暮らせるまちづくりの推進に寄与することを目的としているもの。

質疑 空き家については相続人がいないような状態を考えているか。

答弁 相続等も放棄されていることが確認された場合は、一般的には国のものとなると聞いている。

■那須塩原市第2期最終処分場基本構想について

《議案の概要》第1期最終処分場が平成32年度末にいっぱいになる見込みで、その後の基本構想である。第1期の隣接地に建てる予定で、周辺環境の負荷軽減が図られるということで被覆型、屋根つきの最終処分場にしたいという結論に至った。

質疑 この構想について市民から何か問い合わせはあるか。

答弁 今まで問い合わせはない。地元の自治会長には、本格的な細かい説明は4月以降に行う旨を報告している。



新築・移転した“とようら保育園”



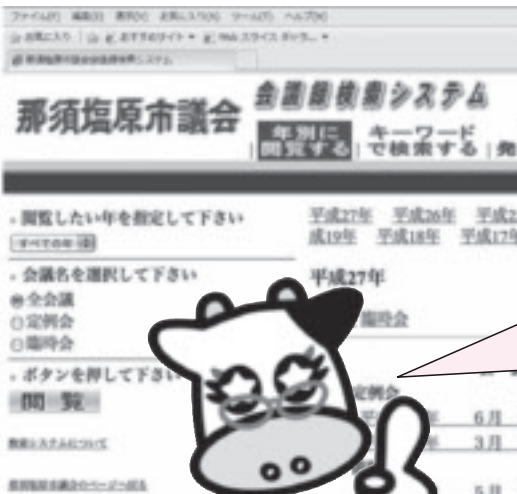
発達支援システムの施策の方向 イメージ

各議員の議案に対する賛否の状況

賛否の分かれた条例、予算、その他案件（陳情以外）の採決結果を記載しています。そのほかの案件は全員賛成で可決されました。

会派名	TEAM 那須塩原								五峰 クラブ				公明 クラブ			志 紳 の 会		敬 清 会		か が や き		日 本 共 産 党	採 決 結 果				
議員名	相馬 剛	齊藤 誠之	佐藤 一則	櫻田 貴久	伊藤 豊美	松田 寛人	君島 一郎	人見 菊一	中村 芳隆	磯飛 清	齋藤 寿一	金子 哲也	若松 東征	玉野 宏	星 宏子	鈴木 紀	吉成 伸一	平山 啓子	鈴木 伸彦	眞壁 俊郎	植木 弘行	大野 恭男		相馬 義一	藤村由美子	山本はるひ	高久 好一
議案第2号	■平成27年度那須塩原市一般会計補正予算（第6号）																									可決	
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	議長 <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
議案第10号	■平成28年度那須塩原市一般会計予算																									可決	
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	議長 <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
議案第11号	■平成28年度那須塩原市国民健康保険特別会計予算																									可決	
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	議長 <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
議案第12号	■平成28年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計予算																									可決	
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	議長 <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
議案第25号	■那須塩原市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について																									可決	
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	議長 <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
議案第26号	■那須塩原市職員の給与に関する条例等の一部改正について																									可決	
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	議長 <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>

【○】は賛成 【×】は反対 【欠】は欠席 【不】は不在席



INFORMATION

【会議録検索システム】稼働中!

会議録検索システムとは、定例会や臨時会の本会議における発言内容を、「開催年」、「キーワード」、「発言者」などで簡単かつ迅速に見つけ出すことができるものです。

市議会ホームページから、ぜひご利用ください。

那須塩原市議会 会議録 と入力し **検索**

ここが聞きたい!

●会派代表質問に4会派、市政一般質問に9議員

平成28年2月29日から3月4日までの日程で会派代表質問及び市政一般質問が行われました。それぞれの議員の様々な課題に対する活発な質問内容の一部を要約し掲載いたします。なお、掲載内容は、質問した議員自らが項目・問答の内容を選定しています。

会派代表質問&市政一般質問

2月29日

- ① TEAM那須塩原【君島 一郎 議員】 12
(1)平成28年度市政運営方針について (2)災害時の対応について
- ② 公明クラブ【吉成 伸一 議員】 12
(1)君島寛市長の掲げる政治信条について (2)平成28年度「市政運営方針」について
(3)公約等の実現について (4)黒磯消防署等の建て替えについて
- ③ 志絆の会【真壁 俊郎 議員】 13
(1)平成28年度市政運営方針について (2)人事評価制度について (3)一般廃棄物最終処分場について
- ④ かがやき【山本 はるひ 議員】 13
(1)市政運営の考え方について (2)教育行政について (3)議会との関係について

3月2日

- ① 佐藤 一則 議員 14
(1)農業の振興について (2)畜産業の振興について (3)工業の振興について
(4)雇用・就労環境の充実について
- ② 櫻田 貴久 議員 14
(1)スポーツでまちおこし (2)観光行政について (3)公共交通について
(4)18歳選挙権の施行に伴う本市の取り組みと投票率の向上について
- ③ 藤村由美子 議員 15
(1)市の情報管理と発信について (2)子育て情報サイトについて
- ④ 相馬 剛 議員 15
(1)スポーツ振興基本計画について (2)小中学校のエアコン設置について
(3)黒磯消防署の建て替えについて

3月3日

- ⑤ 星 宏子 議員 16
(1)子育て世帯支援について (2)スクールソーシャルワーカーの今後の活用について
(3)消費者教育の充実について (4)障害者スポーツの振興について
- ⑥ 平山 啓子 議員 16
(1)防災について (2)「あいサポート運動」について (3)高齢者就労支援について
- ⑦ 齊藤 誠之 議員 17
(1)那須塩原市保育園整備計画(後期計画)について (2)市営住宅指定管理業務について
(3)小規模企業振興基本法に伴う、本市の対応について
- ⑧ 高久 好一 議員 17
(1)新市長の政治姿勢について (2)国保税の引き下げについて (3)定住促進について
(4)本市の水道料金について

3月4日

- ⑨ 金子 哲也 議員 18
(1)国際交流について

INFORMATION

インターネット録画映像配信中!

各議員の質問内容は、市議会ホームページからご覧いただくことができます。本会議中は生中継も配信していますので、ぜひご利用ください。



那須塩原市議会 議会中継 と入力し 検索

※この議会中継は那須塩原市の公式記録ではありません。公式記録は会議録でご確認ください。

【3月定例会インターネット中継アクセス数 のべ 1,821人】



全小中学校へエアコン設置

快適な教育環境の充実を

吉成 伸一 議員

問 市内の全小中学校へのエアコン設置事業について伺う。

答 市長 温暖化が進むと言われていることから、児童生徒の健康に配慮し、安全で快適な教育環境の整備を目的として行う。まずは調査業務に入る。全ての普通教室400を超えるクラスがあり、単純に積算し8億円を超える事業費となるものと考えている。

新庁舎建設の延期理由は

問 新庁舎の建設を2020年開催の東京オリンピック・パラリンピック以降にする理由と今後の対応について伺う。

答 市長 東日本大震災の復興や東京オリンピック開催で、建設資材や人件費が高騰している。財政的な負担を考慮し、建設時期の延期が必要と判断した。土地の問題は、地権者の方々と会って、今後の土地取得等について話を伺いたい。

タクシー料金助成事業が復活！

問 高齢者の外出タクシー料金助成事業を復活させる理由について伺う。

答 市長 市長選挙の際、多くの高齢者の方からタクシー料金助成事業がなくなり、外出の手段がなくなった、病院に行けなくなった等の話を伺った。高齢者の方々の外出を確保する必要があると判断し、復活する。

はじめてのふるさとごはん事業とは

問 子育て応援米の事業の狙いについて伺う。

答 市長 大人と同じ硬さのご飯を食べる1歳6ヶ月の子を持つ世帯を対象に減農薬、減化学肥料の特別栽培米コシヒカリ20kgを贈呈する事業である。地元ふるさと米の味を記憶し、米離れが顕著な若い世代に地元産米の美味しさや安全性を認識してもらい、地元産米の消費拡大の動機付けにしたい。

黒磯消防署等の建てかえは、いつ？

問 黒磯消防署、塩原分署、板室分署建て替えについて伺う。

答 市長 市内防災拠点の中核の黒磯消防署の建てかえは非常に重要である。移転先を新たに選定し建て替えを行いたいと考えている。また、塩原分署、板室分署も重要な防災拠点であり老朽化が進んでいる。計画的な建てかえが必要であると考えている。



市民優先の市政運営を

平成28年度市政運営方針について伺う

君島 一郎 議員

問 基本姿勢の第一で、人が基本という視点でとあるが、どのようなことか。また、県北の中心都市となるべくまちづくりとは、どのようなイメージか伺う。

答 市長 市政を運営していく上で一番重要なことは、市民の立場で考え各段階に応じた施策と、世代を超えた人の結びつきや、助け合いを醸成する施策が重要であると認識している。本市は酪農業や観光業をはじめ産業がバランスよく展開されており、交通網が形成され地域交通の要所となっている。これらの地域資源を生かし、国や県、近隣市町と連携を深め、一体となって施策を展開することにより本市の魅力に磨きをかけ、県北の中心となるべきまちづくりを進めたい。

問 予算編成の基本的な考え方から、各計画に計上されていないが、一般質問等で具体的に実施を答弁している事務事業の扱いについて伺う。

答 市長 事業内容や経費の精査を行い、予算計上をしたいと考えている。

問 (仮称) 公共施設等総合管理計画とは、どのようなことを考えているのか伺う。

答 市長 公共施設等全体の状況を把握し、更新、統合、長寿命化を計画的に行うためのものである。

災害時の対応について

問 昨年の関東・東北豪雨では、自主防災組織に連絡もなく、活動ができなかった。市、消防と連携を密にし、最小限の被災とすべきではないか。また、給水所、仮設トイレなどは、高齢者等に配慮すべきではないか。

答 市長 市災害対策本部会議で検証を行い、自主防災組織が災害状況に応じた活動ができるよう、連携強化に努める。高齢者世帯等への配慮については、高齢者世帯や障害者のみの世帯を対象に、個別給水を実施した。



市政運営の考え方について

責任と決断力を持って 地味でも着実な市政運営を期待する

山本 はるひ 議員

問 28年度事業の中で、見直しをした方がよいと思うものはあるか伺う。

答 市長 今まで継続してきた事業を突然廃止できないので、新年度の中で検討していきたい。馬場の問題は28年度の中で精査をして結論を出したいと考えている。

問 新庁舎の中に市民活動支援センターを置く計画があったが、延期になった。このことについての考えを伺う。

答 市長 庁舎の整備計画と合わせる必要はないのかなという感じはしているが、今後検討したい。

問 市長は市職員をどのように育てたいと考えているか伺う。

答 市長 職員の能力が発揮できる、市民に寄り添い役に立つ、市民ときちんと接することができる職員を目指していきたいと思う。

放射能対策について

問 市の放射能対策について、特に甲状腺エコー検査についての考え方を伺う。

答 市長 本市の除染は一定の成果を上げていると考えている。除染効果を検証して、今後の対応について検討していきたい。甲状腺エコー検査についてすべきだと申し上げてきたが、市の考えを精査した上で検討、研究を重ねていきたい。現在当初の中でやると言えない部分があってきちんと精査していきたい。

教育行政について

問 市長として教育行政にどのようにかかわっていくのか、市の教育についてどう感じているか伺う。

答 市長 人づくりはまちづくりの根幹だと思う。教育委員会と意思疎通を図りながら教育の課題を共有して教育行政を推進したい。学校教育については先進的な取り組みをされてきたと感じる。学力についてはそれほど劣っていないと思う。生涯学習についてはきちんと対応が図られてきたと思う。

議会との関係について

問 議会との関係についてはどのようにしていくのか伺う。

答 市長 対話を大切に、議員の皆様の声に耳を傾けていきたい。



新市長就任にあたり

平成28年度市政運営方針について

眞壁 俊郎 議員

問 新庁舎建設時期の延期について伺う。

答 市長 東京オリンピックなどの影響により建築費等の高騰が伝えられており、合併時からの懸案となっている新庁舎建設ではあるが、合併特例債の発行可能期間も平成36年度まで延長されたことも踏まえ、建設時期の延期が適当であると判断をした。

人事評価制度について

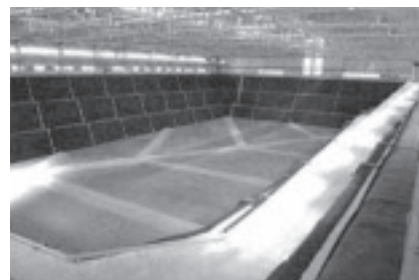
問 人事評価制度の今後の活用及び運用について伺う。

答 市長 能力評価に加えて、業績評価の導入により、能力と実績に基づく人事管理を徹底するため、評価結果を昇級、昇格、任用、その他の人事管理の基礎として活用する方針である。なお、本市の人事評価の目的は、職員間に優劣をつけるものではなく、あくまでも組織全体の底上げを図るものとして、今後においても人材の育成を主眼として運用してまいりたいと考えている。

一般廃棄物最終処分場について

問 最終処分場整備の課題、問題点について伺う。

答 市長 一般廃棄物の適正な処理、処分については、廃棄物処理法に基づき、市内において最終処分場を確保し、将来にわたって適正に管理していくことが必要と考える。第2期最終処分場は、平成33年度の供用開始に向け、計画的に整備を進めていく必要があるが、整備に当たっては、環境への負荷の低減や大雨等の自然災害に万全な対策を講じるとともに、周辺住民が安心できる環境に配慮した施設を整備していきたいと考えている。



被覆型(屋根付き)
処分場の事例(渋川地区広域市町村
圏振興整備組合パ
ンフレットより)



本市のポテンシャルを生かして

スポーツでまちおこし

櫻田 貴久 議員

問 駅伝競技によるまちおこしなどは考えているか伺う。

答 教育部長 駅伝人気が高まり、全国規模の駅伝競技が国内各地で開催されている。本市の駅伝は、人材面でも施設面でもすぐれた位置にあることから、本市の持つ多くのポテンシャルと連携することで、人材の育成や産業の振興など、まちおこしの可能性が高いと考えている。今後検討してまいりたい。

観光行政について

問 最近の観光客入り込み数と宿泊者数について伺う。

答 市長 速報値で、平成27年の観光客入り込み数は998万9,935人で、前年度比1.3%の増、宿泊者数は95万8,220人で、前年比1.7%の増となっている。

問 2016年の観光行政に関する取り組みについて、具体的に伺う。

答 市長 観光局を中心に、観光地としての認知度を定着させるためのプロモーションを継続していく予定であるが、加えて、観光地としての品質管理により力点を置いた取り組みを行っていききたい。

公共交通について

問 今後も持続可能で安全・安心な公共交通に向けた基盤づくりについて伺う。

答 生活環境部長 今後、今年度着手した広域公共交通実態調査の結果をベースに、立地適正化計画との整合性を図り、平成29年度を目途に地域公共交通網形成計画の策定を進める中で、公共交通の基盤を整備してまいりたい。

18歳選挙権の施行に伴う本市の取り組みと投票率の向上について

問 若者の声を政治に反映するための本市の取り組みについて伺う。

答 選挙管理委員会事務局長 選挙への参加は政治に声を届ける第一歩と捉えている。そのため、さきの市長選挙では、若年層への政治、選挙への関心を呼び起こすきっかけづくりとして、同世代による啓発活動に取り組んだ。今後も若者から協力いただく機会を多く作り、投票の呼びかけを行いたいと考えている。



農業従事者の高齢化やTPPの発効等により農業を取り巻く環境が変化していることから

農業の振興について

佐藤 一則 議員

問 新規就農者の育成、支援対策について伺う。

答 市長 随時、窓口で相談を受け関係機関と連携し指導、助言しており、経営不安定な就農直後の所得を確保する必要があることから就農給付金制度を活用した支援も行っている。

問 安定した農業生産の推進対策について伺う。

答 市長 水田の有効活用及び耕畜連携の観点から飼料用米等の推進に努めており、本市の特性を生かした園芸作物の生産推進に向けパイプハウスの整備補助等を行っている。

問 地産地消の推進対策について伺う。

答 市長 学校給食への供給や農産物直売所の整備支援で推進している。

畜産業の振興について

問 作業の効率化、低コスト化対策について伺う。

答 産業観光部長 補助事業の活用による牛舎等の施設整備や自動搾乳機等の導入支援を行っている。

問 畜産振興対策の推進について伺う。

答 産業観光部長 畜産フェア等のイベント開催による牛乳や和牛等の消費拡大や家畜伝染病の予防接種助成等官民協働で推進している。

工業の振興について

問 中小企業の経営基盤への支援対策について伺う。

答 産業観光部長 関係機関と連携し、総額44億円の枠で6種類の事業資金の制度融資を行っている。

問 企業誘致の推進及び支援対策について伺う。

答 産業観光部長 IT産業の誘致活動を展開しており、緑地面積率等の緩和、奨励制度の対象業種の拡大や奨励金等の見直しを行っている。

雇用・就労環境の充実について

問 就労関係機関との連携強化対策について伺う。

答 産業観光部長 厚生労働省栃木労働局と雇用対策に関する協定を締結し一層の連携強化に努める。

問 労働環境の充実対策について伺う。

答 産業観光部長 退職金共済制度の加入促進や共済掛金の一部の支援を行っている。



スポーツ振興基本計画について

7年間の実施状況を踏まえ、充実した5ヵ年計画を

相馬 剛 議員

問 平成21年に策定した、市スポーツ振興基本計画について、「市民の週1回以上のスポーツ実施率50%」を目標として実施しているが、その状況と29年度からの新たな5ヵ年計画の進め方について伺う。

答 教育部長 スポーツ団体の育成支援団体は、体育協会とスポーツ少年団の2団体となっており体育協会については、平成21年度31団体4,488人が登録、平成27年度は32団体3,760人となっている。経費面の支援は、27年度で1,164万6千円でその他、大会運営のサポートなど各競技団体の自立に向けた育成・支援を行っており、今年度から事務局長を直接体育協会に雇用している。スポーツ少年団については、指導者育成事業などを行っており、競技力と指導力の向上などの成果がある。今後も、市民主体の活動支援や施設の整備、イベントの開催など市民優先を旨とし、市民との連携により計画を行いたい。

小中学校のエアコン設置について

問 本市はこれまで、教育環境の整備としてミストシャワーや教室に扇風機を設置し、暑さ対策を行ってきた。平成25年度が猛暑日6日ということで改めて暑さ対策は考えないとのことだったが、28年度予算にエアコン整備の調査・設計事業があり、その内容や設計条件、運用規定について伺う。

答 教育長 調査・設計は設置の必要性を調査するのではなく、機種を選定や各学校の現地調査であり、保護者等の意向については整備をしてその運用を説明してゆく。また設置費用は概算8億円で電気代も市で負担する。また、運用規定はこれによって健康を害さないよう詳細に詰める。

黒磯消防署の建て替えについて

問 黒磯消防署の位置づけと現状、建て替えについて伺う。

答 市長 黒磯消防署は市内消防の拠点で早期に移転建て替えを行う。土地については組合で決定するが今は白紙。選定にあたっては、時期や金額は申し上げられないが、なるべく早い時期に選定していきたい。



市として体質強化し、効果的なIT化を

情報システムについて、費用対効果の検証を

藤村 由美子 議員

問 基幹系、情報系、教育のシステム関連の合計予算額はいくらか。

答 企画部長 平成27年度当初予算に占めるシステム関連経費は4億1,270万円である。

問 情報発信システムにおいて、効率的かつ確実に市民に届けることの検証はどのように行っているか。

答 企画部長 閲覧者数や登録者数で評価している。

問 事業評価のためには、ホームページを見に来てくれた人にその場でアンケートを取る必要があるのではないか。

答 企画部長 ネットでの調査等も今後は必要だと考えている。

問 地域ポータルサイトのきらきらホットなすしおばらについて市民からどのような声が届いているか。

答 企画部長 市民団体から使い勝手が悪いという話は聞いている。

問 同じような商業や観光の情報が発信されているココシル那須塩原とどう違うのか。

答 企画部長 ココシル那須塩原は観光等がメインのサイト。地域ポータルサイトは那須塩原市のすべての情報を一括して発信することが目的のため、ココシル那須塩原の情報も取り込んで発信している。

問 市として情報システム最適化計画を作って長期的、計画的に情報システムの導入から検証までを管理する必要はあるのではないかと。

答 企画部長 平成28年度に地域情報化計画が終了する。今後はシティブロモーション指針の中で情報発信について取りまとめる。

問 エンジニアのスキルを持った若い職員を採用してはどうか。

答 総務部長 職員にはバランスも重要なので慎重に検討したい。

子育て情報サイトについて

問 子育て情報サイトを構築する予定はあるか。

答 市長 きらきらホットなすしおばら等を活用し情報発信したい。

問 子ども・子育て総合センター専用のページを、ママたちと一緒につくってはどうか。

答 子ども未来部長 検討して、より良いものを目指したい。



防災士の活動の活性化を図るため

市内に防災士会の設立を

平山 啓子 議員

問 自主防災組織の進捗状況を伺う。

答 総務部長 平成27年度の結成数は102団体。全自治会数215団体における結成率は47.4%。引き続き結成の促進を図りたい。

問 市内に防災士会の設立の考えを伺う。

答 総務部長 今年度の防災士を対象に、3月5日に研修会を開催する予定。次年度以降はグループに分かれて災害図上訓練を実施し、知識の向上、防災士間の情報支援等も図れるようにしたい。防災士会の設立は、今後実施する研修会を積み重ねた上で、考えていきたい。

問 震災による出火防止のための感震ブレーカー、出火防止コンセントの普及啓発について伺う。

答 総務部長 今後全自治会長を対象に毎年度開催している自主防災組織に関する説明会等に周知を図り、地域防災活動の一つとして取り組みをお願いしていきたい。

問 災害時の「ペット同行避難」について伺う。

答 生活環境部長 飼い主は日ごろからケージに慣れさせるなど訓練を行っておくとともに、避難所においては居住部分へのペットの持ち込みは原則禁止であるため、ペット同伴者が他の避難者と円滑な共同生活を送るよう十分な配慮が必要と考えている。

「あいサポート運動」について

問 「あいサポート運動」とは、愛情の「愛」、私の「い」、支え合う「合い」に共通する「あい」と支える、応援する意味のサポートを組み合わせ、障害のある方を優しく支え、自分の意志で行動することを意味している。本市も「あいサポート運動」を推進してはどうか。

答 保健福祉部長 国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に尊重し合いながら共生する社会を実現していこうとする障害者差別解消法が4月1日に施行される。「あいサポート」運動も含め様々な取り組みを検討し、効果的な啓発活動を実施していきたいと考えている。



子育て世帯支援

ファミリーサポート利用者の補助について

星 宏子 議員

問 ファミリーサポートの利用は、保育施設や学校等の送迎が多く、生活保護世帯や準要保護世帯には複数回依頼すると家計に大きく影響するため、補助金の導入の考えがあるか伺う。

答 市長 現在、ファミリーサポートセンターは、NPO法人に運営を委託しているが、平成28年度末で委託契約が終了するため新たな契約に向け、内容等の見直しの中で、検討する考えである。

スクールソーシャルワーカー(S S W)の今後の増員について

問 昨年6月からS S Wが配置され、不登校やいじめ、虐待、貧困問題などに対応している。スクールソーシャルワーカーの増員について伺う。

答 教育長 本年度は、週5日を2人交代で勤務をしているが、平成28年度は、週5日間、常時2人配置の勤務に変更し、実質1人増員の体制とする予定で考えている。昨年12月に、文部科学省の諮問機関である地方教育審議会から、国はS S Wを学校等において必要な職業とし、法令上明確化する国の動向を踏まえ、本市においても児童生徒や家庭に適切な支援ができるよう、状況を把握しながら計画的にS S Wを配置していきたい。

消費者教育の充実について

問 近年、高度情報化、グローバル化が急速に進み、消費者生活環境が多様化、複雑化している中で、子どもや若者が1人の消費者として安全に自覚的に行動できるよう、早期からの消費者教育を充実させることが喫緊の課題となっている。本市においても、消費者教育を推進し、自立した市民の育成を図る必要があると考えるが、市の考えを伺う。

答 生活環境部長 条例、また行動計画等を整備することも一考と考えるが、今後の課題ということで、今後検討する。

障害者スポーツの振興について

問 平成34年の国体開催に向けて、栃木県は準備を進めている。競技の誘致の考えはあるのか伺う。

答 保健福祉部長 障害者スポーツ大会の誘致も視野に入れる必要がある。



市長の政治姿勢について

公約の実現について考えを求める

高久 好一 議員

問 新庁舎の建設については、共産党が以前から、市民との協働が少なく、資材や人件費の高騰する時期の建設で税金の無駄遣いは許されない、と延期を提案して来た。どのような計画のもとに延期をするのか詳細を聞かせて欲しい。

答 市長 新庁舎の建設延期は、先の2会派の質問に答えた通り。改めて市民の皆様と新しい庁舎を作り上げていきたい。今後も多くの市民の皆様方の意見をいただきながら計画の策定などに当たっていききたい。

問 高齢者外出支援タクシー券については、市民と存続を求めて署名と陳情書を提出し、議会で採択され、前市長に実施を求めた経過がある。予算の積算と市民への周知について考えを求める。

答 市長 平成28年度予算は、8月に利用券を交付し、9月から利用を開始とする助成額等を計上した。市民への周知は、市の広報、及びホームページの掲載を予定している。また、民生委員、ケアマネジャー、地域包括支援センターなどへ事業の説明をし、高齢者からの相談等の協力をお願いしたいと考えている。

国保税の引き下げについて

問 県内市町で2番目に多い財政調整基金残高を計画的に活用し、国保税の引き下げを行うべきと思うが、市の考えを聞かせて欲しい。

答 保健福祉部長 国民健康保険税は、歳出に対して適正な歳入となる税負担を実現するため、平成26年度に3.27%減税の見直しを行っている。29年度以降の税率については、28年度に見直しを行う予定だが、医療費に見合った税負担を考慮して、検討していきたい。財政調整基金は、高齢者の増加、医療技術の高度化などにより、保険給付費が増加し、財源不足を埋めるため28年度予算では約9億円の取り崩しを予定している。



那須塩原市保育園整備計画
(後期計画)について

保育の質向上のために、保育士の処遇改善を

齋藤 誠之 議員

問 今後の那須塩原市独自の保育サービスをどのように考えるか。

答 子ども未来部長 本市においては、入園待ち児童が多く存在していることを踏まえ、まずは保育を必要とする子育て世帯に通常保育を提供できるように取り組むこと、また多様な保育ニーズに対応するため、病児、病後児保育、延長保育等の充実及び保育の質の向上に取り組むことが重要であると考えている。

問 臨時職員の待遇並びに民営の園への補助について伺う。

答 子ども未来部長 民営で働く保育士の補助等々については、国の交付金とかいろいろ活用して処遇改善に結びつけていきたいと考えている。

市の臨時職員の処遇改善については、市で規定している単価があり、当然のことながら、本市の臨時の保育士の募集をかけてもなかなか集めるのが難しいという現状の中で、単価の引き上げについては総務のほうにも協力をお願いし、単価の引き上げ等々の要望は行っている。

小規模企業振興基本法に伴う、本市の対応について

問 国の法律を受け条例化した県の対応を鑑み、本市においても条例を制定すべきと考えるが、市の考えを伺う。

答 産業観光部長 条例の制定については、まず条例を制定する前段において、いかに実効性のある取り組みを小規模事業者はもちろんのこと、市、県、商工会が連携して進めていくかということが何よりも重要である。関係者間のさらなる連携強化によって、実効性のある取り組みを積み重ねていく中で、小規模事業者、商工会の意識の醸成が図られた段階で、さらなる飛躍のよりどころとしての条例制定について、具体的なタイムスケジュールも含めて、検討していくのが筋であると考えている。

小規模事業者が元気になることが、本市経済の元気アップに通ずるものと確信しているので、今後も従前にも増して、まずは具体的な支援強化といったものを進めていきたいと考えている。

姉妹都市交流事業で滑川市議会訪問

4月7日、8日の両日、明治19年に滑川市出身者が開拓のため那須野が原に移住したことがきっかけで姉妹都市提携をした滑川市へ議員が派遣され、先ずは、市役所を訪れ、意見交換会を行い、その中で滑川市長より、これからは那須塩原市と滑川市の物産及び特産品の交流を行いたいとのこと要望を頂きました。

また、両日とも市内の各施設を視察しました。



滑川市長へ挨拶する中村議長



ほたるいかミュージアムにて海上観光の取り組みについて



市民交流センター内子ども図書館にて説明を受ける



4月23日にオープン予定の新児童館内の視察風景



スポーツ・健康の森公園の視察にて

懇談会では滑川市議会議員との情報の交換及び互いの議会で抱える問題等を話し合う交流が行われました。今後も両市の発展を誓い合えた素晴らしい交流事業となりました。



リンツ市と姉妹都市締結、
ルガー市長夫妻、副市長初来日

調印式典、歓迎行事、祝賀会は

金子 哲也 議員

問 オーストリア共和国リンツ市との姉妹都市提携の調印式と歓迎行事について伺う。

答 市長 リンツ市からルガー市長ご夫妻や副市長などを本市にお迎えし、6月13日に実施する予定で進めている。調印式の会場は、姉妹都市提携に至る歴史的な縁となった旧青木家那須別邸を予定し、歓迎行事としては、祝賀会を計画している。国際交流協会のご意見も聞きながら、リンツ市ともよく協議を行い、今後の市民交流の可能性について模索してまいりたい。

問 姉妹都市交流の進め方について伺う。

答 企画部長 国際交流協会の意見も聞きながら、また、国際交流協会独自でリンツ市を訪問されるのもすばらしいと思っている。リンツ市との交流に当たっても、いろいろご意見を頂戴していければと思っている。

問 視察や友好訪問に対して、市は何らかの助成を考えているか。

答 企画部長 市からの支援については、単なる助成、補助というだけでなく、今、リンツ市で国際交流担当の方をお願いしているので、協力を得ながら進めていければと考えている。

問 この提携によって、特別の人だけが交流するのではなく、大勢の一般市民が、芸術文化はもとより、いろいろな形で交流を盛んにすることで、20年、30年後に、どんなに大きな財産になり、我がまちがどこまで文化の水準の高いまちに向上するか計り知れない。このチャンスを是非生かしていただきたいが、どう考えるか。

答 市長 リンツ市の芸術、文化、長い歴史の中で育まれたものについて、この姉妹都市提携によって、いろいろな形で恩恵をもたらしてくれるのではないかと、いう思いがある。ぜひともこの姉妹都市提携については成功させたいと思っている。

須賀川市議会 議会広報委員会が行政視察に来訪

2月5日、福島県須賀川市議会議会広報委員会の皆様、本市議会の議会だよりについて視察に来られました。

当編集委員会でも試行錯誤をしながら紙面の刷新を進めているところですが、須賀川市でも、これまでは掲載していなかった市政一般質問等の記事の掲載を検討しているとのことで、議会だより編集について活発な質疑応答がなされました。



視察受け入れの様子



市議会って？Q&A～素朴な疑問にお答えします～

Q 平成27年度政務活動費の状況は？



A 政務活動費は議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として会派に対して交付される補助金です。積算根拠は【会派の人数×2万円×12か月】で、5月に会派の口座に振り込まれ、年度末に精算します。平成27年度は、残金152万8,731円が返還されました。

政務活動費の使い方基準(領収書が必要)

- ★視察費 先進地調査、現地調査の経費(交通費・宿泊費・施設入場料)
- ★研修費 研究会、研修会を開催する経費、他団体の主催する研究会、研修会に参加する経費(会場費・講師謝金・会費・交通費・宿泊費)
 - 交通費(JR運賃、私鉄、バス、航空料金など)はすべて領収書が必要
 - 宿泊費は1泊朝食付きで12,000円まで、領収書により実費支払い
- ★資料作成費 資料・報告書作成の経費(印刷製本費・原稿料)
- ★資料購入費 図書・資料購入の経費
- ★広報費 調査研究、議会活動などについて市民に報告、周知する経費(印刷費・送料)
- ★広聴費 市民からの意見聴取のための経費(会場費・印刷費)
- ★会議費 勉強会や意見交換会の経費(会場費・講師料・機材借り上げ代・印刷費)

会派別交付状況と議会支出状況

① 会派別交付金額

会派名	人数	交付額
TEAM那須塩原	9人	1,888,911円
五峰クラブ	5人	1,200,000円
公明クラブ	4人	51,544円
志絆の会	3人	466,298円
敬清会	2人	389,228円
かがやき	2人	480,000円
無会派	1人	235,288円
合計	26人	4,711,269円

② 市議会収支報告(会派合計)

支出内訳	支出金額
視察費	3,863,019円
研修費	696,480円
資料作成費	4,481円
資料購入費	163,378円
広報費	0円
広聴費	0円
会議費	0円
合計	4,727,358円

※①の合計と②の合計が違うのは、交付額より多く支出した会派があり超過分の会派負担分が含まれているからです。
※詳細は議会のホームページでも見るができます。また、議会の図書室でも閲覧できます。

議会報告会開催

共通テーマ「公共交通の在り方」

▼5月24日(火) 会場:鍋掛公民館
午後6時30分～午後8時30分

意見交換テーマ

「地域住民たすけ合い事業」について

▼5月25日(水) 会場:高林公民館
午後2時～午後4時

意見交換テーマ

高林を元気にしよう ～何でも伺います～

▼5月26日(木) 会場:南公民館
午後6時30分～午後8時30分

意見交換テーマ

市民のみなさまと考える那須塩原市

【編集後記】

安保法制の成立など日本の立憲主義・民主主義のあり方が問われている中、2016年参議院選挙から18歳選挙権が適応され、主権者を育てる政治教育のあり方が模索されています。

一方、2015年6月に策定した政府の「骨太方針2015」ではアベノミクスの経済成長戦略のなかで、医療・介護・子育て等社会保障費の大幅な減少が目指されています。

那須塩原市では新市長が誕生。4月から市職員も新体制となりました。平成28年度新たな行政で生産性の高い、活力に溢れた地域経済実現に向けた少子化対策における「地域アプローチ」の推進、まちづくり・地域連携地方創生の深化のための交付金、地方創生関連補助金等の見直しのなか議員1人1人が考えていかななくてはと思います。

議会報告会を5月24日、25日、26日に3会場で開催します。皆様のご参加をお待ちしています。(若松)

議会だより編集委員会よりお知らせ

次号8月20日号より、
本誌面が左開きになります。

議会だより編集委員会

委員長 齊藤 誠之

副委員長 藤村由美子

委員 星 宏子

若松 東征

相馬 剛

山本 はるひ

議 会 日 誌

1月

- 14日 正副委員長会議
議員全員協議会
- 15日 議会だより編集委員会
- 18～20日 建設経済常任委員会所管事務調査(京都府舞鶴市ほか)
- 20日 栃木県さくら市議会来訪
- 26～28日 総務企画常任委員会所管事務調査(福岡県福岡市ほか)
- 29日 議会運営委員会
議会報告委員会

2月

- 1日 議会だより編集委員会
- 3日 平成28年第1回那須塩原市議会臨時会
- 5日 福島県須賀川市議会来訪
- 8日 議会だより編集委員会
- 12日 議員全員協議会
- 16日 茨城県城里町議会来訪
- 17日 福島県三春町議会来訪
- 18日 東京都三鷹市議会来訪
- 19日 議会運営委員会
- 25日 議会活性化検討特別委員会
- 26～3月17日 平成28年
第2回那須塩原市議会定例会
- 29日 第5回議場コンサート

3月

- 10日 議会報告委員会
- 16日 庁舎建設検討特別委員会
議会運営委員会
議員全員協議会
- 17日 議会だより編集委員会

議会を傍聴してみませんか

次の6月議会(定例会)は、

6月3日(金)開会予定です。

議会は会期日程に基づき本庁舎4階で行われています。是非傍聴にお越しください。

また、6月議会に合わせて議場コンサートを予定しています。

詳しい内容は随時ホームページでお知らせいたします。

那須塩原市議会 検索

クリック!

❖読みやすく、親しみやすい紙面づくりのために、ぜひご意見をお聞かせください。

❖議会だよりに関するお問い合わせ・ご意見、または音声版議会だよりのお問い合わせは議会事務局まで。

【E-mail】gikai@city.nasushiobara.lg.jp

【TEL】0287(62)7181